

CHARLES LEADBEATER

LONDON
SPEAKER
BUREAU

▪ Author, Leading authority on Innovation and Creativity



Topics

- Branding
- Innovation
- Marketing

Charlie Leadbeaterは、世界中の政府、都市、および企業によって助言が求められている、革新に関する著名な作家、思想家、および戦略的顧問です。

ニューヨークタイムズ紙は、チャーリーのアイデアであるPro-Am Revolutionを、過去10年間で最も大きな世界的アイデアの1つとして、彼の画期的な本The Long Tailで広く引用していました。CharlieによるTEDのイノベーションに関する講演は、100万人以上の人々によって注目されてきました。

Spectator Magazineは彼のベストセラー『We Think』大量生産ではなく大量生産』が出版された後、彼を「Webの魔法使い」と表現しました。この本を基にしたYouTubeのアニメーションは、30万人以上の人々に見られています。グローバル経営コンサルタントであるアクセンチュアは、彼を世界でトップの経営思想家の一人にランク付けしました、そして、フィナンシャルタイムズは彼に英国の優れた革新の専門家を説明しました。著名なデビッドワットジャーナリズム賞を受賞したチャーリーは、独立系新聞の著名なキャリアを経て編集長を務めました。

フィナンシャルタイムズ、労働編集長、産業編集長、東京局長。

チャーリーは、ダウニングストリート政策部門のブレア首相の政策チーム（彼はトニーブレアのお気に入りの世界的思想家であると広く認められている）とインターネットとインターネットの影響に特化した商務省の主要顧問になり続けた。知識主導型経済。彼は、英国政府の白書 - 私たちの競争の未来：知識主導型経済の構築 - を作成しました。これは、先進国が成長のためのイノベーションにますます依存するようになると主張するためのものです。

ヨーロッパ、北アメリカ、オーストラリア、ラテンアメリカの政府は、健康と教育から文化と都市に至るまでの政策問題についてのアドバイスを彼に求めました。チャーリーは、シアトルのゲイツ財団からドーハのカタール財団、ロンドンのエコノミスト誌、マイクロソフトからテート美術館まで、あらゆる大陸で有名な会議で定期的に講演しています。

チャーリーはロンドンの影響力のあるシンクタンクであるデモスと長年のシニアリサーチアソシエートです。公的機関と協力して次世代の公共サービスを創設しているParticipleの共同創設者であり、科学技術芸術振興協会の客員研究員でもあります。ユーザー主導のイノベーション。チャーリーはソーシャルエンタープライズの共同議長です。Apps 4 Good最近ホワイトハウスの注目を集めているFacebookアプリを作るためのライセンスを与えられる最初の慈善団体の1つ。

彼は前もってアイデアを発見した実績があります。例えば、1997年に出版された社会起業家の台頭は、社会問題が公共問題に解決することをより説得力のあるものにすると予測した最初の本の1冊です。それ以来、社会起業家精神は世界的な動きとなっています。チャーリーはオックスフォードで開催された社会起業家精神に関するSkoll World Forumで基調講演を行いました。

彼の仕事は、民間、公共、社会の各分野におけるイノベーションにまで及びます。シスコが2009年に発行した広く読まれているレポート『Learning from the Extremes』では、社会起業家が、発展途上国のスラム街や貧民街で学習するため

の新しい低コストアプローチを生み出すためのテクノロジーの使用方法を調べました。ロンドンのImperial Collegeで健康革新に取り組んでいる新しい立場から、彼は発展途上国で新しい、低コストで分散型の健康管理モデルが生まれている方法を見ています。

チャーリーは現在、2014年初めに出版予定の次の著書『The Frugal Innovator』を研究しています。この本では、緊急の社会的課題に対する超低コストでシンプルで堅牢な共有ソリューションの普及について分析しています。『Frugal Innovator』は、発展途上国の比較的貧しい消費者のために、そして比較的貧しい消費者のために考案されたより多くの新製品によって、イノベーションのグローバルな原動力が景気後退の間にどのように変化しているかを調べます。それと並行して、彼はデジタルテクノロジーが私たちの生活を作り変えている方法とそれがどのようにもっと人道的で共感的になることができるかを研究しています。